

式辞

今を盛りにと咲き競う花々と、日々緑を増してきた木々に、今年も希望に満ちた春が巡ってまいりました。

この良きに日に、埼玉県立川越西高等学校第四十二回入学式を挙行できますことは、新入生はもとより、私たち職員一同、大きな喜びでございます。

ただ今入学を許可いたしました三百十八名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を心より歓迎いたします。

さて、入学にあたり、皆さんに本校の校訓を紹介いたします。

本校の校訓は「敬愛・正義・努力」です。

一つ目の「敬愛」とは、「敬い、親しみの心を持つこと」です。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大により、とても不安な世の中です。こんな時こそ、人を思いやる心を持ち、他人と心とつながりを持つことが大切だと実感している人も多いことと思います。これを契機に、これからの高校生活でも、思いやりの心を持

ち、人と良好な人間関係を築く力を身に付けてください。

二つ目の「正義」とは、「正しいすじみち、人がふみ行ふべき正しい道」のことです。高校時代はまだ失敗が許される最後の年代です。しかし、皆さんは十八歳で成人となる最初の年代です。従って高校在学中に、自分の行動に責任が伴う成人となります。そのため、高校二年修了時まで、正しく判断し正しく行動できる力を身に付けてください。

三つ目の「努力」とは、「目標実現のため、心身を労して努めること、骨をおること」です。高校三年間は一生のうちで、記憶力も論理的な思考も、最も充実している時機です。この三年間で努力した人は、将来の夢に大きく近づくはずですが、今、夢という言葉を出しましたが、まだ高校に入学したばかりで、将来の夢が見えていない人も少なからずいるはずですが、それはそれでいいと思います。まだ夢が見えていない人も、今やるべきことを一生懸命やっていたら必ず結果はついてきて、自ずと道は見えてくるはずですが、是非、高校三年間で努力を重ね、自らの人生を切り拓い

てください。

皆さんが高校卒業後に生きていく社会は、人工知能やロボットの発達により、働き方が大きく変わると言われています。しかし、他人を思いやり誰とでも良好な人間関係が築ける人、正義感の強い人、何事にも努力のできる人は、どんなに社会が激しく変わろうとも逞しく生きていけることと確信しております。

これから本校での三年間は、皆さんにとって学問をそして人生を学ぶための大切な時機です。この大切な時期に「敬愛・正義・努力」の三つを備えた人に成長してくれることを期待し、式辞といたします。

平令和二年四月八日

埼玉県立川越西高等学校長

田 中 聡